◎国民健康保険法の一部を改正する法律

律 (平成二〇年二月二十六日法律第九七号(衆))

一、提案理由(平成二〇年二月一日・衆議院本会議)

○田村憲久君 ただいま議題となりました両案について申し上げます。

.....(略).....

次に、国民健康保険法の一部を改正する法律案について、提案の趣旨及び内容を御説明申し上げます。

本案は、国民健康保険の保険料の滞納により、いわゆる無保険状態となっている子供が適切な医療を受けられるようにするため、被保険者証を返還した世帯に義務教育終了前の者がいるときは、その者に係る有効期間を六月とする被保険者証を交付しようとするものであります。

本案は、昨十日の厚生労働委員会において、全会一致をもって委員会提出法律案とすることに決したものであります。

何とぞ、御審議の上、速やかに御可決いただきますようお願い申し上げます。

国民健康保険法の一部を改正する法律

二、参議院厚生労働委員長報告

(平成二〇年二月十九日)

○岩本司君 ただいま議題となりました六法律案につきまして、厚生労働委員会における審査の経過と結果を御報告申し上げます。

.....(略).....

次に、国民健康保険法の一部を改正する法律案について申し上げます。

本法律案は、子供の心身に健全な育成に資するため、世帯主等が国民健康保険の保険料等の滞納により被保険者証を返還した場合であっても、その世帯に属する十五歳に達する日以後の最初の三月三十一日までの間にある被保険者がいるときは、当該世帯主等に対し、当該被保険者に係る有効期間を六月とする被保険者証を交付しようとするものであります。

委員会におきましては、提出者である衆議院厚生労働委員長田村憲久君より趣旨説明を聴取した後、採決の結果、本法律案は全会一致をもって原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

.....(略).....

以上、御報告申し上げます。

国民健康保険法の一部を改正する法律

(注) 衆議院においては、委員会の審査は省略された。